【広告】福島民友　2014/10/13付

祝 BACS バックス情報システム株式会社 データセンター竣工

完成したデータセンター

ごあいさつ

バックス情報システム株式会社
代表取締役　鈴木　雅之

10月13日の今日、バックス情報システムは17回目の創立記念日を迎えました。この記念日にデータセンター竣工を発表できることをうれしく思います。昨年7月に「第3次ふくしま産業復興企業立地補助金」の採択を受け、本年8月末、無事に本社社屋内にデータセンター棟の竣工を迎えることができました。弊社は、震災からの復興途上にある福島県の地元企業として、データセンター事業を核にお客さまと共に成長し、生活の基盤である雇用の拡大、福島県のICT（情報通信技術）産業のさらなる発展を目指し全力で事業に取り組んでまいります。

記念対談特集

■テーマ
「活力ある産業拠点都市いわき市におけるICT産業の発展」

■対談
小野　栄重氏（いわき商工会議所会頭）
鈴木　雅之氏（バックス情報システム株式会社代表取締役）

■バックス情報システムとは

小野　このたびのデータセンター竣工、誠におめでとうございます。先ほどは社内を視察させていただきありがとうございました。私の感想としては、想像以上に館内セキュリティーが強固で、コンピューター室にいたっては、免震・ハロゲン化物消火設備・自家発電・無停電装置などデータ保全のための設備が具備されていることに驚いております。鈴木社長は当商工会議所の議員でもあり、情報通信業部会の常任委員も務められておりますが、具体的な業務内容について再度説明いただけますか。

社内を視察する小野会頭

鈴木　1997（平成9）年10月に、弊社はいわき市植田町で創業いたしました。私たちは創業以来「地域企業様の電算部門を担う」を合言葉に、コンピューターのソフトウエア開発からネットワーク・セキュリティーシステムの開発、運用、維持管理まで、広範囲にわたって高度なサービスを提供しております。

■いわき商工会議所地域振興ビジョン2014について

小野　既に存じ上げていると思いますが、本年度、いわき商工会議所では2020年を見据えた「地域振興ビジョン2014～福島県浜通り都市圏の復興を支える産業・生活拠点都市～」を発表しました。そして、「いわき市の強みを生かした新規産業・成長産業の振興」を具体的な目標の一つとして掲げています。貴社はICT産業の分野に当てはまり、まさしく成長産業の位置付けにあると思っています。貴社が考えるICT産業の今後をお聞かせください。

記念対談をする小野いわき商工会議所会頭㊨と鈴木社長

鈴木　小野会頭がおっしゃる通り、私も成長産業であると考えております。清水敏男いわき市長は「原発廃炉・ロボット産業」や「バッテリーレー構想」などなど復興に向けた新規産業を具現化すべく努力されております。私たちICT産業は、あらゆる産業や経済活動を下支えする産業分野ですので、もちろん、新規産業を支えるのもICT産業であるとご理解いただいていることと思います。現代のインターネット社会においては、コンピューターの先はいわき市や福島県内にとどまらず、日本全国、地球規模の世界が広がっております。また、東京の首都圏まで2時間足らずの立地条件にあり、福島県や茨城県には大手のメーカーの工場や拠点が数多く立地しております。このことを考えるだけでもいわき市は、ICT産業の素地に恵まれており、まだまだ成長する産業であると確信しております。

小野　なるほど、ICT産業は、伸びしろのある成長産業であることは理解しました。では、地域に対してはどのような形で貢献されるのですか。

鈴木　ICT産業、特にソフトウエア開発部門は技術者が財産です。技術者が多くいれば多くの仕事が受託できます。逆に技術者が少なければ仕事は受託できません。言い換えれば、ICT産業の成長は雇用の拡大と比例する関係にありますので、多くの雇用を生み出せると考えます。また、この地に戻りたいと思っている若者への就業機会の提供にもつながるものとも考えております。私のいわき市といわき商工会議所への期待は、多くのICT産業の誘致または創設のための施策の策定といわき市内の工業団地に拠点を置く企業や県外の企業に向けて情報を発信していただくことです。ぜひ、われわれの地元ICT業界と連携を密にし、商工会議所のアクションプログラムの具体策作りにお力添えをお願いしたいと強くご要望いたします。

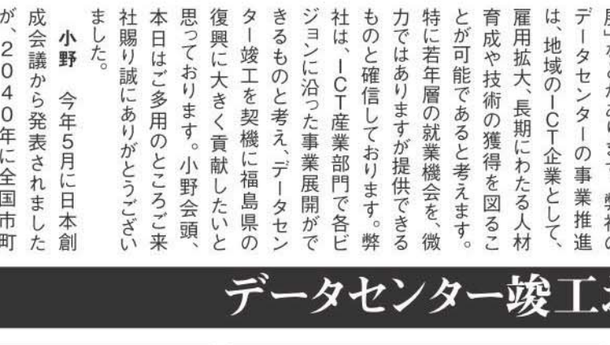
小野　力強いお言葉をいただき、ありがとうございます。アクションプログラムの中にも、付加価値の高いICT産業の誘致・育成、若者雇用に有効な情報産業の誘致を位置付けておりますので、お互いに連携をして進めていきましょう。

■データセンター事業について

小野　データセンターといえば、ヤフーやグーグル、大手メーカーのデータセンターをイメージするのですが、貴社のデータセンターは小規模に感じられます。どのような事業形態をとられるのですか。

鈴木　小野会頭がおっしゃる通り、弊社のデータセンターは大手と比べれば小規模です。データセンターの事業形態は【図】を参照しながらご説明いたします。弊社のデータセンターは取引企業やパートナー企業との連携強化を図ることを目的としております。設備機能に関しては、企業のBCP（事業継続計画）への取り組みに応えられるサーバーやネットワーク機器、無停電装置、自家発電装置を具備しております。また、情報漏えいを未然に防ぐセキュリティーシステムを導入しておりますので、データ保全は確保されています。サービス内容は、地域の企業を中心にデータ管理はもちろん、システム企画から構築・運用管理までのコンピューターシステムに係る業務を一貫してサポートしてまいります。さらに、福島県いわき市で創業し、17年の信頼と実績をベースに、顔が見えるオンサイトサポート（直接現場に派遣するサービス）を含むサービスを目指します。この点が大手のデータセンターとの違いです。

【図】



■ICT産業推進に係る商工会議所の方針

鈴木　先に話題になりましたビジョンのアクションプログラムの進め方について、商工会議所での計画についてお伺いしたいのですが。

小野　正木副会頭が座長を務める経済政策研究会において、部会および常置委員会からの意見反映を図りながら、現在、アクションプログラムをさらに深掘りした具体的なプロジェクトの作り込みを進めているところです。まだ、いわき市および市議会の理解が重要であることから、先般、清水市長との懇談会、市議会との懇談会を開催したところです。

■いわきICT連絡協議会の設立

鈴木　先ほど述べました通り、東日本大震災からの復旧・復興の途上にある福島県の企業として弊社が果たさなければならない責務は、ICT産業部門での地域貢献です。私は、いわき市に生まれ、いわき市が大好きで、いわきで起業し現在に至っております。同じように、郷里を思いながらも全国各地で働く方々に、安心して地域社会の一員に戻っても生活できる雇用機会を提供することが最大の貢献と考えております。そして、地域とともに生き、仕事は全国、世界というICT産業ならではの未来をこれからの若い人たちと共有したいと思っております。現在、この郷里復興への思いを共有する地元ICT企業のリーディングカンパニー株式会社東日本計算センター代表取締役社長の鷲弘樹さま、いわき明星大学教授の竹中久さま、高山文雄さまらと地元ICT関連の企業および教育機関との情報交換や地元ICT産業の今後を共に考え実行する組織として「いわきICT連絡協議会」の設立を目指しております。ぜひ、小野会頭をはじめいわき商工会議所のご支援を賜りたいと強くお願いしております。

小野　大学、高等専門学校の存在は、いわきの強みです。産学連携の下に企業の技術力向上、新商品の開発、新市場への進出などを盛んにし、企業の経営力を強めていくことは非常に重要であると考えます。「いわきICT連絡協議会」には期待をしており、できる限りご支援申し上げます。

■終わりに

鈴木　福島復興の一役を担うICT産業の成長を期待するビジョンとしては、福島県の「福島県復興ビジョンへの提言」内の「新たな時代をリードする産業の創出」、また、「いわき商工会議所地域振興ビジョン2014」の「活力ある産業拠点都市いわき市におけるICT産業の発展」などがあります。弊社のデータセンターの事業推進は、地域のICT企業として、雇用拡大、長期にわたる人材育成や技術の獲得を図ることが可能であると考えます。特に若年層の就業機会を、微力ではありますが提供できるものと確信しております。弊社は、ICT産業部門で各ビジョンに沿った事業展開ができるものと考え、データセンター竣工を契機に福島県の復興に大きく貢献したいと思っております。小野会頭、本日はご多用のところご来社賜り誠にありがとうございました。

小野　今年5月に日本創成会議から発表されましたが、2040年に全国市町村の約半数が消滅可能性都市と推計されています。いわきがそうならないよう対策を考え、実行することがわれわれの使命です。若者が東京へ出て行く流れを何とか食い止め、いわきで就職し、結婚し、子どもを産み、育てていきたいと思うようなまちづくり、人づくり、仕事づくりを進めなければなりません。いわきの復興、福島の復興に向け、鈴木社長の力強いリーダーシップの下に社員の皆さまが一丸となり、御社が限りない発展をされますことをご祈念申し上げます。本日は誠におめでとうございました。

バックス情報システムのシンボル　20年後の未来の子供たちのために

ほうとく幼稚園より寄贈いただきました

■会社情報

〒971-8111
福島県いわき市小名浜
大原字丁新地211-1
TEL0246-92-0333㈹
FAX0246-92-0369
http://www.bacs-j.co.jp

データセンター竣工おめでとうございます

いわき商工会議所
会頭 小野栄重
〒970-8026 いわき市平字田町120 ラトブ6F
TEL0246-25-9151／FAX0246-25-9155 URL=http://www.iwakicci.or.jp

いいひと、いいまち、いいくらし。
いわき信用組合
本部 いわき市小名浜花畑町2－5
☎0246-92-4111

上下水道・プロパンガス・灯油・住宅設備機器
設備工事・介護リフォーム 設計施工
有限会社 伊勢屋商店
いわき市植田町本町1-7-9 ☎0246-63-1155
URL http://www.iseyashouten.jp

未来に誇れるコトモノ。
建設／補償コンサルタント
東日本測量株式会社
代表取締役 木町元康
本社／いわき市植田町林内26-5 TEL(0246)63-6063㈹ FAX(0246)63-6752
白河支店／白河市昭和町281 TEL(0248)22-3565 FAX(0248)22-3566
相双支店／南相馬市原町区栄町三丁目41 TEL(0244)26-6663 FAX(0244)26-6660

すべてを地域のために
東邦銀行
植田支店
〒974-8261 いわき市植田町中央1丁目3-1
TEL0246-63-3131

福島銀行
取締役社長 森川英治
福島市万世町2-5 TEL024-525-2525

KATA
KOMATSU.ARCHIDESIGN
一級建築士事務所
小松建築設計事務所
〒971-8172
福島県いわき市泉玉露 6丁目12－2
TEL:0246(56)6576 FAX:0246(88)6070
E-mail:archi_502@yellow.plala.or.jp

人と地球の未来を考え
社会の発展に貢献してまいります。
東北技研工業
TOHOKU GIKEN KOGYO Co., Ltd
〒970-1146 いわき市好間町榊小屋字迎3
TEL:0246-36-5684 FAX:0246-36-4485

真心を石に刻んで未来へ繋ぐ
大野石材店
代表 大野清吉
〒974-8261 いわき市植田町中央3丁目16-5
TEL0246-62-1555

築くこと、すべてに感動品質を ――
田村建材 株式会社
代表取締役 田村哲朗
国土交通大臣許可(般-24)第19938号
建築工事業、土木工事業、左官工事業、とび土木工事業、屋根工事業
タイル・れんが・ブロック工事業、鋼構造物工事業、塗装工事業
防水工事業、内装仕上工事業
本社 〒973-8403 福島県いわき市内郷綴町金谷1番地の7 TEL0246-26-3121㈹
郡山支店 〒963-0547 福島県郡山市喜久田町卸一丁目57番地1 TEL024-959-6121㈹
福島営業所 〒960-0102 福島県福島市鎌田字卸町14番地1 TEL024-552-5121㈹
白河営業所 〒961-0041 福島県白河市字結城69番地 TEL0248-22-0550㈹
東京営業所 〒169-0074 東京都新宿区北新宿一丁目12-11-4F TEL03-3365-4121㈹

電気工事請負設計施工 ISO9001 認証取得
大和電設工業株式会社
代表取締役会長 松崎勉
代表取締役社長 松崎則行
〒970-8034 いわき市平上荒川字桜町55-1
TEL(0246)29-8888㈹ FAX(0246)29-8887

SANKYO SEZBI
空調・衛生
三共設備株式会社
代表取締役 松原兼一
〒972-8325 福島県いわき市常磐白鳥町壱丁田2-1
TEL(0246)43-2381 FAX(0246)43-2384